

十月の天象

太 陽

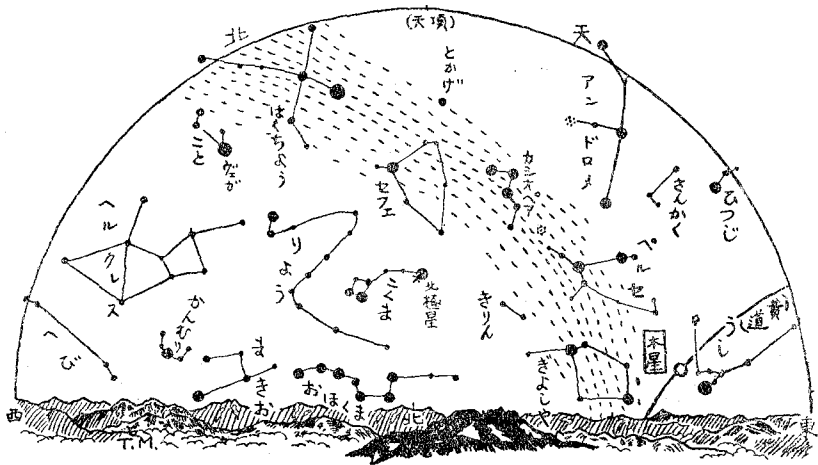
日	赤 經	赤 緯	星 座	視直径
1	12時28分41秒	南 3度 6分	なごめ	32分 1秒
11	13 5 12	6 56	なごめ	32 6
21	13 42 29	10 37	なごめ	32 12
31	14 20 50	14 3	てんびん	32 17

月始め天秤宮にありて、23日から天蝸宮に侵入する。星座は月中殆んど、「なごめ」座に居るのであるが、月末の31日から「てんびん」座に入る。

月

月の相	時 刻	星 座	視直径
新 月	3日午前 7時19分18秒	なごめ	31分32秒
上 弦	11 午前 3 5 12	い て	29 33
満 月	18 午後 9 5 54	う ら	31 41
下 弦	25 午後 5 21 12	か に	32 14
遠地点通過	10 午後11 42	い て	29 33
近地点通過	23 午前 7 0	ふたご	32 25

今月は、3日午後10時に、月が水星を追越す。翌4日には又、午後5時には火星を追い抜く。此の時はまだ、月齢が若いので見えにくいかも知れないが、小型望遠鏡でもあれば、見る事が出来るであらう。此の時、月は火星の北側1度の所を通りすぎるのである。鋭い鎌形の月に、赤い火星の配合は面白からう。9日午前8時には土星に追い付き、越えて17日午後3時には天王星と出合ふが、前者の場合は時刻の都合悪く、後者では満月に近い光輝のため、共に見る事が出来ない。22日午後1時に木星と出合ひ、27日午後9時には海王星を追越すのであるが共に見られぬ。又30日午後9時に金星に追付くが、此れも駄目。31日午後1時には、水星の南側をすれすれに追い抜く珍景があるが、日中であるので、相當の望遠鏡がなければ此の珍景を見る事は出来ない。



十月の恒星界

名月も過ぎて、愈々秋も深くなつて來た。澄み渡つたみ空の、冴えた星の光に、我を忘れてながめ入るのも此頃である。

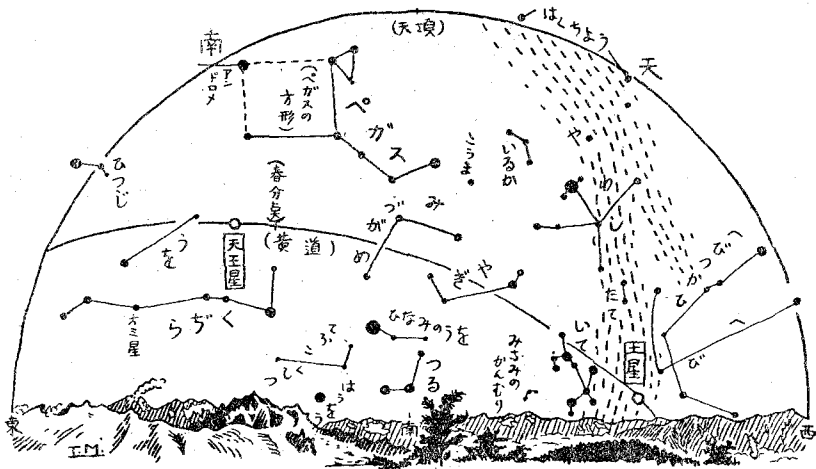
北斗は殆んど地平線に下つて、「セフェ」が今、丁度、北極の眞上に來てゐる。「きりん」に「りよう」は、對稱に東西に並び、銀河は東北から西南へかけて流れてゐる。「ぎよしや」は今、やつこ現はれて來た所。「うし」に共に木星の巨體が登つて來るのは、賑やかであり、威勢のよいものである。

天頂近くには、「アンドロメ」、「ミカゲ」、「はくちよう」、「ベガス」等が居並び、西空には、夏の名残りの「いて」や「みなみかんむり」、さては「へび」、「へびつかひ」等が、正に没せんとしてゐる。「いて」座中の土星も、僅かに西山に影を投げてゐるのは、あわれである。

南天には、何んと言つても、「みなみうを」の主星フォーマルホウトの輝やくのが目立つ。更らに、南方のよく見える地方では、「つる」や「はうをう」を見る事も出來やう。

天の座標の原點たる春分點が、今少しで子午線を通過しやうとしてゐる。それに續いて天王星も通過する。併し春分點は目に見えるわけでもなく、近くに大きな星もないので興味が無いかも知れないが。

今月は先づ、木星の美を見る可きであらう。



十月の遊星界

水星 月初めに「をさめ」座スピカ星近くにゐて、逆行して居り、8日に内合となりて、以後曉の空に現はれる。17日0時に「をさめ」座γ星附近で留まなる。19日早朝に近日點通過。24日午前4時に西方最大離角なる。離角は18度23分。月始めは觀望は駄目であるが、月末にはよい。其の頃の光度は0等、視直經は6秒余。

金星 曉の星であつて徐々に太陽に近附いて行く。月始めは「しし」座の中央に居るが順行を續けて、16日には「をさめ」座へ入る。19日午前2時に近日點を通過して、月末には「をさめ」座K星附近まで進む。光度は、すつミ負3等半を持続し、視直經は12秒から11秒に減少する。

火星 甚だ太陽に近附いたので觀望は不便である。「をさめ」座を順行。月末に「てんびん」座に入る。視直經は本年最小の3.74秒である。

木星 宵の星。「をうし」座東部を順行し、5日留まなりて后逆行に移る。光度は負2等。視直經は42秒で極大に近い値いである。宵に東天に登る。

土星 宵の西空に正1等星として輝く。星座は「いて」座の西端にあつて、順行してゐる。視直經は14秒。

天王星 宵の東天「うを」座の中央にあり。光度6等。視直經3秒余。

海王星 曉の星。「しし」座ロ星近くを順行する。光度8等。視直經2秒。